

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前 405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
松本貞次

組織内候補の勝利をめざして!

今春おこなわれる統一地方選挙に、部落解放同盟組織内候補として藤本眞利子県連特別執行委員と石本一也県連執行委員が立候補し、ともに再選をめざす。ふじ本まり子(現職・和歌山市選挙区)は、和歌山市議会議員2期を経て、和歌山県議会議員として4期

目当選を果たすべく選挙戦に挑んでいる。2月15日の事務所びらきには、400人を超える支援者が集まり、多くの激励がよせられた。和歌山県議会で数少ない女性議員として、女性の立場と目線で「みなさんの声を確実に県政へ」をスローガンに、子育て支援、

医療、雇用、福祉の充実をはかり、安全で安心して暮らせる人権を大切にす街づくりを主な公約として掲げている。和歌山市選挙区の定数15人に対し、現職14人と新人3名の17人が立候補を表明しており、厳しい選挙戦が予想される。同盟員一人ひとり、さらに支援の輪を広げ、ふじ本まり子の当選をめざし残された時間のなかでとりくみをすすめてい



多くの人が事務所びらきに来ました



事務所びらきで団結ガンバロー!!

室内用



いしもと 一也

町議会議員候補

いしもと

選挙事務所/小坂 3 和歌山県有田郡高野町1201-01 電話073-473-2301 FAX073-473-2302 和歌山県中之島3-4-4 和歌山県印刷 771015-アート

いしもと一也(現職・湯浅町選挙区)は、4年前に湯浅町議会議員に初当選し、今回は2期目の挑戦となる。「平和・人権・環境」の課題を中心に、あらゆる差別の解消、福祉・医療・就労対策・教育・災害対策の充実をめざし、夢のある町づくりを公約として掲げている。組織内議員としての声を町政に届けるべく、

【湯浅町議会議員選挙】
告示 4月21日(火)
投票 4月26日(日)

【和歌山県議会議員選挙】
告示 4月3日(金)
投票 4月12日(日)

新たに「まちづくり・防災特別委員会」と「人権・福祉特別委員会」の設置を提案し実現させてきた。湯浅町選挙区は、定数10人に対し、13人14人が立候補すると予想されており、厳しい闘いとなる。いしもと一也の連続当選をめざし、さらなる支援の輪を広げよう!

室内用



みなさまの声を
確実に県政へ!

和歌山県議会議員

ふじ本まり子

頑健

サイレント・マジORITYテイー(発言しない多数)という言葉が急に気になる。以前、ニクソン前米大統領がベトナム戦争に関わり「発言しないが、政権を支持する多数」と勝手に解釈してから、たびたび都合の良いように使われている。毎月、九条ネットの呼びかけで、ランチャタイムデモに参加しているが、彼らの流儀でいうと「憲法改正に反対しているのは、和歌山で2、300人程度ということになる」▼昨年暮れの総選挙後の安倍首相は「国民の信託を得た」として、本格的に集団的自衛権の法制化、原発再稼働そして、憲法改正へすすもうとして、選挙でまったく出さなかったテーマである▼今一つが「群衆」という言葉である。100年以上も前のこと、20世紀直前にして、仏の心理学者ル・ボーンが「これからは、群衆の時代」と予言した。自己を完全に喪失し、断言・反復・感染によって暗示のまま行動する集合体ということである。まさに、今から70年も前に戦争への道をつきすすんだ日本の姿である▼あらゆるマスメディアをつうじて「強い国日本」と叫ぶ安倍首相の姿が繰り返され、国民が自己喪失のままどこかへ誘導されていく状況が現実の姿に思える。私たちは、河原に無数に生える葦ではなく「考える葦」に、そして「ものを言う多数」にならなければ取り返しがつかない。そんな今である。(S・I)